

# SAGA建設技術フェア2023

## 開催報告書



本報告書は、令和5年6月14日（水）～15日（木）にかけてSAGAプラザ（総合体育館）で開催した「SAGA建設技術フェア2023」の実施内容およびアンケート調査結果等についてとりまとめたものです。

令和5年10月

公益財団法人佐賀県建設技術支援機構

## 目次

1. フェアの概要 .....	1
2. 出展者 .....	2
2.1 出展者一覧表 (59 団体) .....	2
2.2 会場配置 .....	3
2.3 会場の様子 .....	4
3. 来場者 .....	5
3.1 来場者数 .....	5
4. 実施内容 .....	6
4.1 ポスター及びチラシ .....	6
4.2 開催プログラム .....	7
4.3 開会式 .....	9
4.4 特別講演 .....	10
4.5 技術者発表 (1) (2) .....	11
4.6 技術者発表 (3) .....	11
4.7 展示技術プレゼンテーション .....	12
4.8 パネル展示 .....	13
4.9 閉会式 .....	14
4.10 受講証明書の配布 .....	14
5. アンケート結果 .....	15
5.1 来場者アンケート .....	15
5.2 出展者アンケート .....	23
6. まとめ .....	29

## 1. フェアの概要

主 催	公益財団法人佐賀県建設技術支援機構
共 催	佐賀県／佐賀大学／一般社団法人佐賀県県土づくりコンサルタント協会／ 一般社団法人佐賀県建設業協会／一般社団法人佐賀県建築士会／特定非営 利活動法人技術交流フォーラム
後 援	国土交通省九州地方整備局／佐賀県教育委員会／佐賀市／一般社団法人佐 賀県地質調査業協会／佐賀県土木施工管理技士会／一般社団法人佐賀県建 築士事務所協会／低平地研究会／公益社団法人土木学会西部支部／公益社 団法人地盤工学会九州支部／公益社団法人日本技術士会九州本部／一般社 団法人建設コンサルタント協会九州支部／NHK 佐賀放送局／サガテレビ／ 佐賀新聞社／建設新聞社
日 時	【1日目】 令和5年6月14日（水）10:00～16:00 【2日目】 令和5年6月15日（木）10:00～16:00
場 所	SAGA プラザ（総合体育館）（佐賀市日の出一丁目21番15号）
目 的	建設分野（土木・建築）の技術・工法・製品などについて産学官における技 術情報の交流の場を提供し建設分野の技術開発や新技術導入の促進を図る とともに、高校生・大学生を含む一般の方々に建設業界の魅力や社会資本整 備の必要性について理解を深めてもらうことにより、建設産業の発展に寄 与することを目的とする。
テ ー マ	建設技術が創る安全・安心なまちづくり
内 容	特別講演 技術者発表 学生研究発表 技術展示ブース 展示技術プレゼンテーション パネル展示
出展テーマ	環境／防災／コスト縮減／維持管理／ICT／佐賀の技術
来 場 者	総数 2,270名（2日間延べ） 【内訳】 官公庁 138名 建設業 963名 コンサルタント 318名 製造業・メーカー 249名 一般・その他 154名 学生・生徒 448名

## 2. 出展者

### 2.1 出展者一覧表（59 団体）

59 の企業・団体からブースを出展していただきました。県内の企業・団体からの出展は 26 ブースでした。

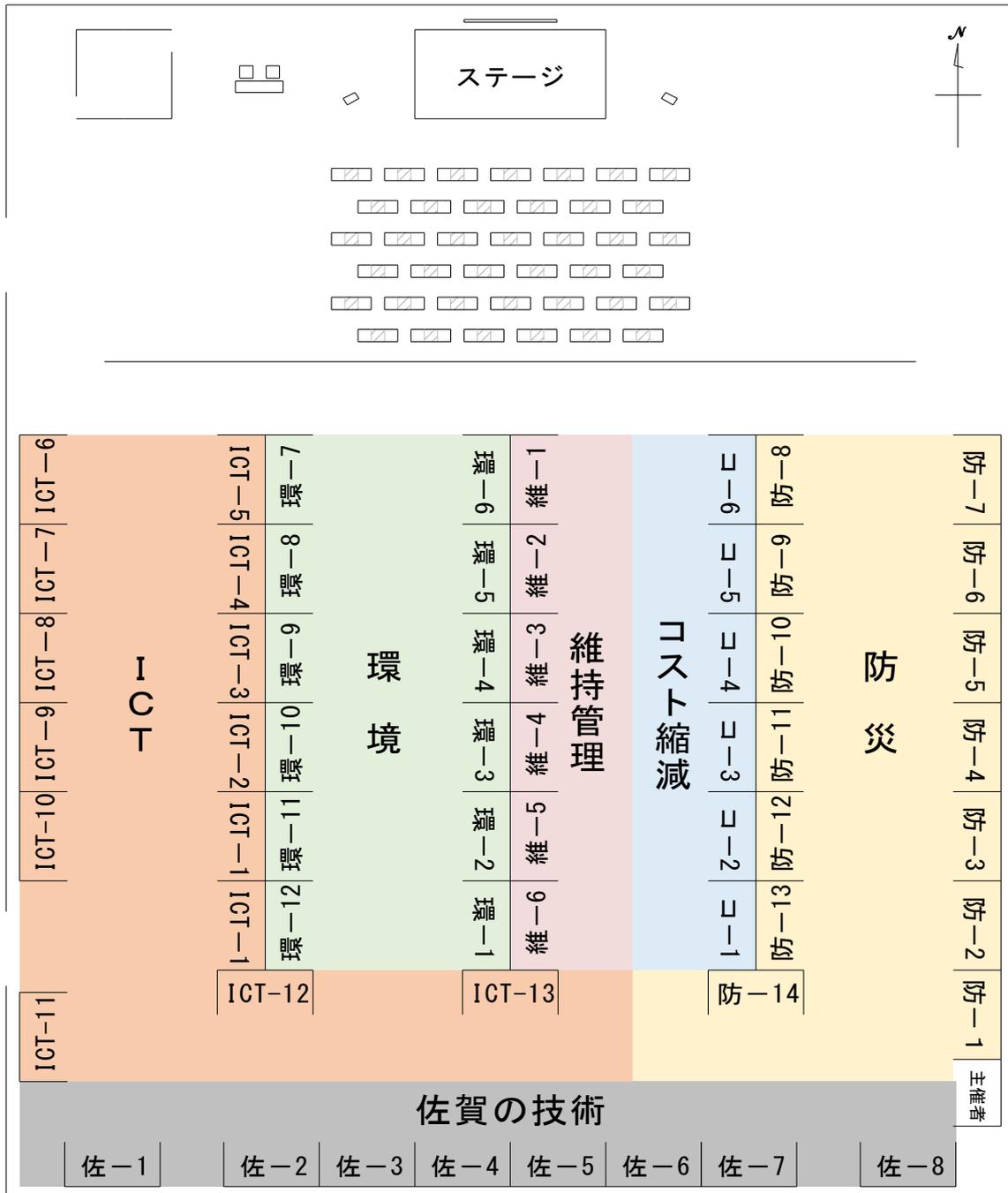
【出展者一覧（59 団体）】

分類	番号	企業 団体名
環 境	環-1	高原本材株式会社
	環-2	宇部工業株式会社
	環-3	日本建設技術株式会社
	環-4	株式会社FACT-ONE
	環-5	基礎地盤コンサルタンツ株式会社
	環-6	一般社団法人 有明未利用熱利用促進研究会
	環-7	日本乾溜工業株式会社 佐賀支店
	環-8	旭化成アドバンス株式会社 環境資材事業部
	環-9	株式会社東洋スタビ
	環-10	バイオワース株式会社/株式会社川原
	環-11	株式会社唐津シービー
	環-12	有明コンクリート工業株式会社
防 災	防-1	株式会社和建
	防-2	日本コンクリート工業株式会社
	防-3	景観壁体研究会
	防-4	PAN WALL工法協会 矢作建設工業(株)
	防-5	株式会社ヤマウ
	防-6	株式会社新井組
	防-7	株式会社プロテックエンジニアリング
	防-8	株式会社サムシング
	防-9	株式会社仙台銘板
	防-10	株式会社エムオーテック 福岡支店
	防-11	昭和コンクリート工業株式会社
	防-12	株式会社トータル環境
	防-13	西日本技術開発株式会社 佐賀営業所
	防-14	日本製鉄株式会社
コスト削減	コ-1	日鉄スラグ製品株式会社
	コ-2	森田建設株式会社
	コ-3	協同組合Masters GEOTETS工法研究会
	コ-4	株式会社建築資料研究社 佐賀支店 日建学院 佐賀校)
	コ-5	不二コンクリート工業株式会社
	コ-6	共和コンクリート工業株式会社 福岡営業所
維持管理	維-1	松栄技建株式会社
	維-2	大林道路株式会社 九州支店
	維-3	佐賀県のリフレッシュ工法協会
	維-4	ロンタイ株式会社 福岡支店
	維-5	大同塗料株式会社 福岡支店
	維-6	ニチレキ株式会社 佐賀営業所
ICT	ICT-1	国際技術コンサルタント株式会社
	ICT-2	シマウチエンジニアリング株式会社
	ICT-3	精密舎株式会社
	ICT-4	福井コンピュータ株式会社
	ICT-5	株式会社建設システム 九州営業所
	ICT-6	村本建設株式会社
	ICT-7	株式会社オブティム
	ICT-8	アイサンテクノロジー株式会社
	ICT-9	九鉄工業株式会社
	ICT-10	株式会社ワイビーエム
	ICT-11	リコージャパン株式会社
	ICT-12	株式会社熊谷組
	ICT-13	株式会社テノックス九州
佐賀の技術	佐-1	一般社団法人 佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
	佐-2	佐賀大学理工学部/理工学研究科 都市基盤工学コース/建築環境デザインコース
	佐-3	株式会社名村造船所 鉄構事業部
	佐-4	フローティング基礎研究会
	佐-5	日之出水道機器株式会社
	佐-6	清本鉄工株式会社
	佐-7	Fe石灰技術研究所
	佐-8	株式会社セリタ建設

## 2.2 会場配置

1つの会場に『ブース出展エリア』と『ステージエリア』することで、両エリアの行き来を簡単にできるようにしました。また、ブース出展エリアは出展テーマごとに配置することで、テーマに関する技術や工法の情報収集をやすくしました。

【会場配置図】



## 2.3 会場の様子



【 全 景 】



【 受 付 】



【 出展ブース 】



【 講演・発表 】

### 3. 来場者

#### 3.1 来場者数

2日間で総計2,270名の方にご来場いただきました。建設（土木・建築）の来場者が最も多く、次いで学生（大学生・高校生）が多い結果となりました。

受付での混雑緩和のため、WEBによる事前申込みをお願いしました。

【来場者集計表】

(単位：人)

日時 来場者	6/14(水)	6/15(木)	小計
官公庁・団体職員	73	65	138
建設(土木・建築)	478	485	963
設計・調査・コンサルタント	173	145	318
製造業・メーカー	135	114	249
一般・その他	100	54	154
学生(高校生・大学生)	314	134	448
合計	1273	997	2270

## 4. 実施内容

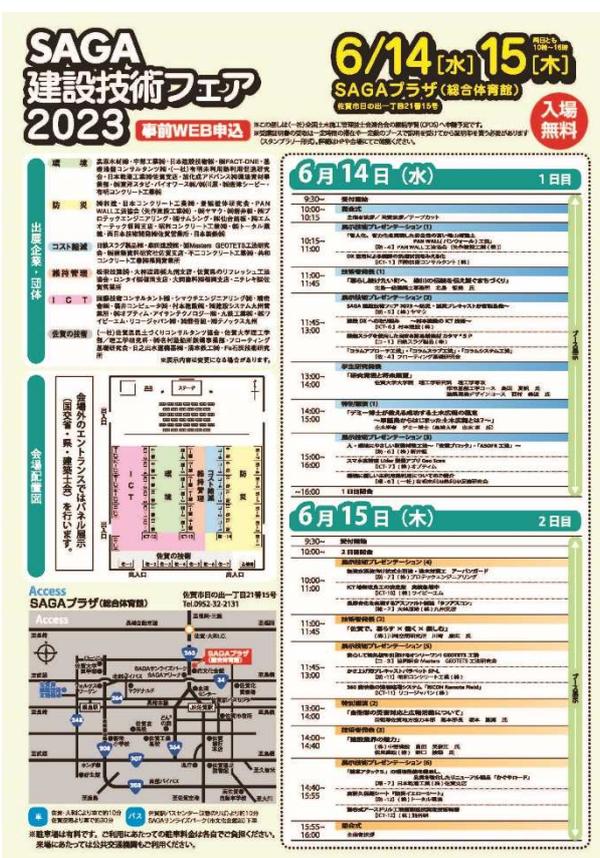
### 4.1 ポスター及びチラシ

フェアの開催を広く周知するため、ポスターおよびチラシを作成し、区市町や関係団体等に配布しました。

#### 【ポスター及びチラシ】

(ポスター／チラシ表)

(チラシ裏)



## 4.2 開催プログラム

1日目は開会式、特別講演、技術者発表、学生研究発表、展示技術プレゼンテーション9件、2日目は特別講演、技術者発表、展示技術プレゼンテーション10件、閉会式を行いました。

# SAGA建設技術フェア2023 プログラム

6月14日(水) 【1日目】

9:30~	受付開始	↑ ブ ー ス 展 示  ↓
10:00~	<b>開会式</b>	
10:15	主催者挨拶 / 来賓挨拶 / テープカット	
<b>展示技術プレゼンテーション(1)</b>		
10:15~ 11:00	「省人化、省力化を実現した安全性の高い地山補強土 PAN WALL(バンウォール)工法」 【防-4】PAN WALL工法協会 (矢作建設工業(株))	
	DX活用による橋脚の洗堀状況をみえる化 【ICT-1】国際技術コンサルタント(株)	
<b>技術者発表(1)</b>		
11:00~ 11:45	「暮らし続けたい町へ 柳川の伝統を伝え繋ぐまちづくり」 北島一級建築士事務所 北島 智美 氏	
<b>展示技術プレゼンテーション(2)</b>		
11:45~ 13:00	SAGA建設技術フェア2023~防災・減災プレキャスト貯留製品他~ 【防-5】(株)ヤマウ	
	建設DXへの取り組み ~村本建設のICT技術~ 【ICT-6】村本建設(株)	
	鉄鋼スラグを使用した固まる簡易舗装材 カタマ®SP 【コ-1】日鉄スラグ製品(株)	
	「コラムアプローチ工法」・「コラムスラブ工法」・「コラムシステム工法」 【佐-4】フローティング基礎研究会	
<b>学生研究発表</b>		
13:00~ 14:00	「研究発表と将来展望」 佐賀大学大学院 理工学研究科 理工学専攻 都市基盤工学コース 島田 夏帆 氏 建築環境デザインコース 西村 奏波 氏	
<b>特別講演(1)</b>		
14:00~ 15:00	「デミー博士が教える成功する土木広報の極意 ~軍艦島からはじまった土木広報とは?~」 土木学者 デミー博士 (長崎大学 出水 享 氏)	
<b>展示技術プレゼンテーション(3)</b>		
15:00~ 16:00	人・環境にやさしい耐震補強工法~「安震ブロック」・「ASOFR工法」~ 【防-6】(株)新井組	
	スマホ高精度Lidar測量アプリGeo Scan 【ICT-7】(株)オブティム	
	環境に優しい未利用熱利用についてのご紹介 【環-6】(一社)有明未利用熱利用促進研究会	
~16:00	1日目閉会	

6月15日(木) 【2日目】

9:30~	受付開始	↑ ブ ー ス 展 示 ↓
10:00~	2日目開会	
10:00~ 11:00	<b>展示技術プレゼンテーション(4)</b>	
	無流水溪流向け杭式土石流・流木対策工 アーバンガード 【防-7】(株)プロテックエンジニアリング	
	ICT地盤改良工の決定版 実績急増中 【ICT-10】(株)ワイビーエム	
	長寿命化を実現するアスファルト舗装「タフアスコン」 【維-2】大林道路(株)九州支店	
11:00~ 11:45	<b>技術者発表(2)</b>	
	「佐賀で、暮らす×働く×楽しむ」 (株)川崎空間研究所 川崎 康広 氏	
11:45~ 13:00	<b>展示技術プレゼンテーション(5)</b>	
	安心して鋼矢板を引抜けるオンリーワン! GEOTETS工法 【コ-3】協同組合Masters GEOTETS工法研究会	
	かさ上げ用プレキャストパラペットSP-L 【防-11】昭和コンクリート工業(株)	
	360度映像の遠隔臨場システム「RICOH Remote Field」 【ICT-11】リコージャパン(株)	
	人と環境に適した新工法 CPP工法 【佐-8】(株)セリタ建設	
13:00~ 14:00	<b>特別講演(2)</b>	
	「自衛隊の災害対応と広報活動について」 自衛隊佐賀地方協力本部 副本部長 坂本 嘉庸 氏	
14:00~ 14:40	<b>技術者発表(3)</b>	
	「建設業界の魅力」 (株)中野建設 畠田 美奈江 氏 松尾建設(株) 野口 捺菜 氏	
14:40~ 15:55	<b>展示技術プレゼンテーション(6)</b>	
	「雑草アタックS」の環境性能を継承し、 品質を強化したリニューアル製品「かぐやロード」 【環-7】日本乾溜工業(株)佐賀支店	
	高耐久保護シート『防災イエローシート』 【防-12】(株)トータル環境	
	熊谷式アースドリル工法掘削抵抗測定技術軸部 【ICT-12】(株)熊谷組	
15:55~	<b>閉会式</b>	
16:00	主催者挨拶	

### 4.3 開会式

ステージにて開会式を執り行いました。共催や後援の皆様方にご列席いただき、主催者挨拶、来賓挨拶、テープカットが行われました。

【主催者挨拶（支援機構 王丸理事長）】

【来賓挨拶（佐賀河川事務所長 工藤 勝次 氏）】



【来賓・共催者によるテープカット】



（テープカット写真 左から）

特定非営利活動法人 技術交流フォーラム  
一般社団法人 佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会  
佐賀大学 理工学部 理工学科 都市工学部門  
国土交通省 九州地方整備局 佐賀河川事務所  
公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構  
佐賀県 県土整備部 建設・技術課  
一般社団法人 佐賀県建設業協会  
一般社団法人 佐賀県建築士会

理事長 小野 龍太 氏  
副会長 詫間 政弘 氏  
教授 日野 剛徳 氏  
所 長 工藤 勝次 氏  
理事長 王丸 義明  
課 長 野口 欣也 氏  
副会長 下村 敏明 氏  
会 長 小島 啓 氏

#### 4.4 特別講演

1日目は、

国立大学法人長崎大学大学院 工学研究科

土木学者 デミー博士 出水 享 氏

に「デミー博士が教える成功する土木広報の極意～軍艦島からはじまった土木広報とは?～」と題してご講演いただきました。

2日目は、

自衛隊佐賀地方協力本部 副本部長 坂本 嘉庸 氏

に「自衛隊の災害対応と広報活動について」と題してご講演いただきました。

#### 【土木学者 デミー博士 出水 享氏による講演の様子】



#### 【自衛隊佐賀地方協力本部 副本部長 坂本 嘉庸氏による講演の様子】



#### 4.5 技術者発表（1）（2）

建設業界での若手の一層の活躍に寄与することを目的として、「建築業界の魅力」というテーマで技術者発表を2日間行いました。

1日目は、

北島一級建築士事務所 北島 智美 氏

に「暮らし続けたい町へ 柳川の伝統を伝え繋ぐまちづくり」と題してご講演いただきました。

2日目は、

株式会社川崎空間研究所 川崎 康広 氏

に「佐賀で、暮らす×働く×楽しむ」と題してご講演いただきました。

#### 【講演の様子】



#### 4.6 技術者発表（3）

2日目は、建設業界での女性の一層の活躍に寄与することを目的として、

株式会社中野建設 畠田 美奈江 氏

松尾建設株式会社 野口 捺菜 氏

に、「建設業界の魅力」と題してご講演いただきました。

#### 【講演の様子】



#### 4.7 展示技術プレゼンテーション

19 のブース出展者による展示技術プレゼンテーションをステージにて行いました。1 出展者あたりの発表時間は 15 分で各技術や製品などについて発表をしていただきました。

##### 【技術発表者一覧表】

分類	企業・団体名	発表内容
環-6	一般社団法人有明未利用熱利用促進研究会	環境に優しい未利用熱利用についてのご紹介
環-7	日本乾溜工業株式会社 佐賀支店	「雑草アタックS」の環境性能を継承し、品質を強化したリニューアル製品「かぐやロード」
防-4	PAN WALL工法協会（矢作建設工業株式会社）	「省人化、省力化を実現した安全性の高い地山補強土 PAN WALL(パンウォール)工法」
防-5	株式会社ヤマウ	SAGA建設技術フェア2023 ～防災・減災プレキャスト貯留製品他～
防-6	株式会社新井組	人・環境にやさしい耐震補強工法 ～「安震ブロック」・「ASOFR工法」～
防-7	株式会社プロテックエンジニアリング	無流水溪流向け杭式土石流・流木対策工 アーバンガード
防-1 1	昭和コンクリート工業株式会社	かさ上げ用プレキャストパラペットSP-L
防-1 2	株式会社 トータル環境	高耐久保護シート『防災イエローシート』
コ-1	日鉄スラグ製品株式会社	鉄鋼スラグを使用した固まる簡易舗装材 カタマ®S P
コ-3	協同組合Masters GEOTETS工法研究会	安心して鋼矢板を引抜けるオンリーワン！GEOTETS工法
維-2	大林道路株式会社 九州支店	長寿命化を実現するアスファルト舗装「タフアスコン」
ICT-1	国際技術コンサルタント株式会社	DX活用による橋脚の洗掘状況をみえる化
ICT-6	村本建設株式会社	建設DXへの取り組み ～村本建設のICT技術～
ICT-7	株式会社オプティム	スマホ高精度Lidar測量アプリGeo Scan
ICT-1 0	株式会社 ワイビーエム	ICT地盤改良工の決定版 実績急増中
ICT-1 1	リコージャパン株式会社	360度映像の遠隔臨場システム「RICOH Remote Field」
ICT-1 2	株式会社 熊谷組	熊谷式アースドリル工法掘削抵抗測定技術軸部
佐-4	フローティング基礎研究会	「コラムアプローチ工法」・「コラムスラブ工法」・ 「コラムシステム工法」
佐-8	株式会社セリタ建設	人と環境に適した新工法 CPP工法

##### 【展示技術プレゼンテーションの様子】

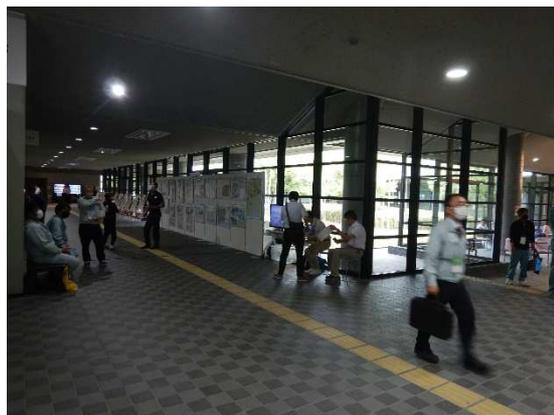
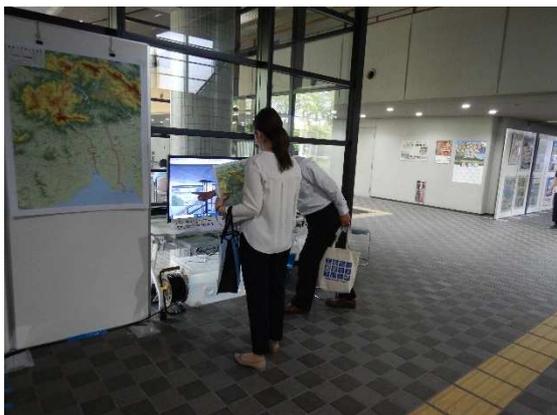


#### 4.8 パネル展示

会場では以下の団体からのご協力によりパネル展示を行いました。

- ・国土交通省 九州地方整備局 佐賀河川事務所
- ・佐賀県
- ・一般社団法人 佐賀県建築士会

【パネル展示の様子】



#### 4.9 閉会式

当支援機構の玉丸理事長の閉会挨拶で2日間の幕を閉じました。

【閉会挨拶】



【閉会式の様子】



#### 4.10 受講証明書の配布

当フェアは一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会の運営する CPDS（継続学習制度）の学習プログラムとして認定を受けており、希望する来場者に受講証明書を発行しました。

なお、CPDS のユニット数は両日とも 2 ユニットでした。

## 5. アンケート結果

### 5.1 来場者アンケート

来場者を対象にアンケート調査を行いました。

#### (1) 1日目

##### 設問1) 職業

建設業が最も多く来場者のほぼ半数を占め、次いで設計・調査・コンサルタント、学生・生徒となっています。

##### 設問2) フェアの開催はどこで知ったか

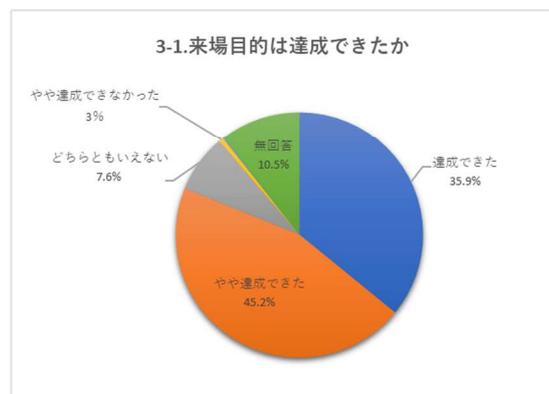
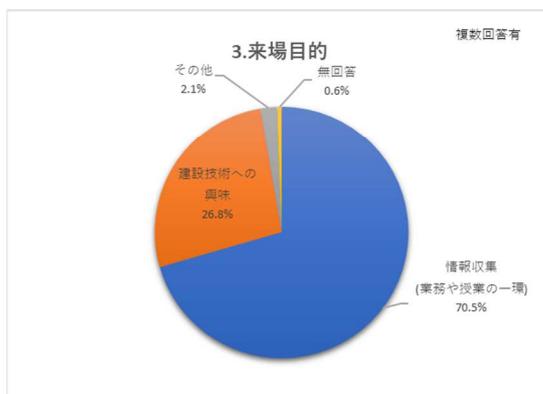
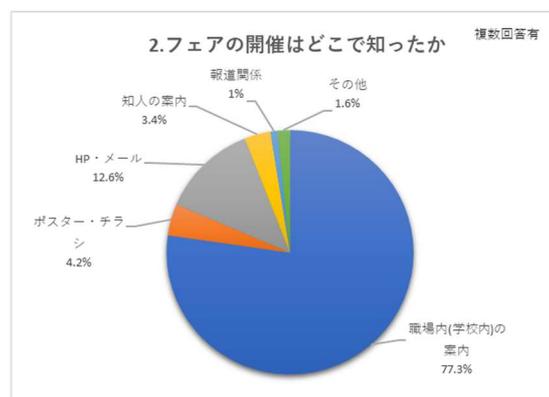
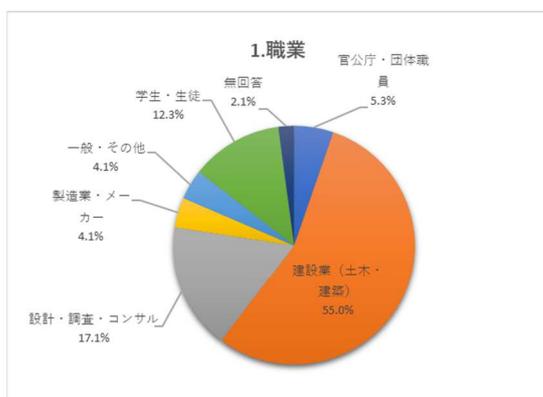
職場内(学校内)からの案内が最も多くなりました。

##### 設問3) 来場目的

情報収集が最も多く約70%、次いで建設技術への興味が26%程度となっています。

##### 設問3-1) 来場目的は達成できたか

達成できたとやや達成できたを合計すると約81%となっています。



設問 4) 毎年の開催を希望するか

希望するという回答は 87%程度となっています。

設問 5) 今回のフェアで印象に残ったプログラム

多くの方は、出展ブースが印象に残ったようです。

設問 6) フェアに関する評価

良い、やや良いという回答は約 86%となっています。

【良い】

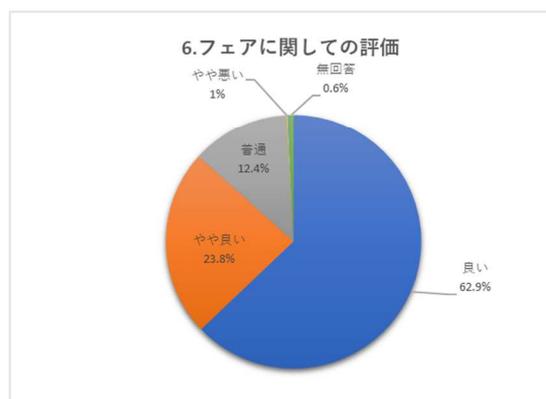
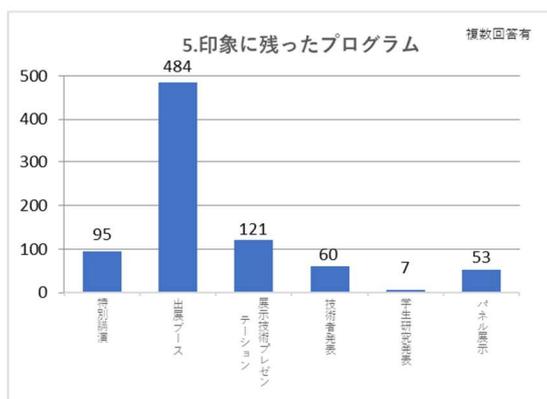
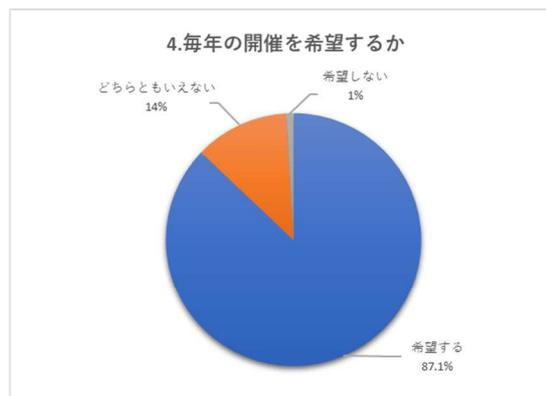
- ・様々な分野に興味を持つ入口として最適だと感じた
- ・多方面にわたる展示で、専門以外の話や革新的技術で新鮮と感じた
- ・DX系のものは展示も増えてきており、新情報を実物をさわりながら学べる
- ・多くの企業の特徴や技術がここに来ると伝わるから
- ・技術展示ブースは各テーマごとに分かれており、回りがやすかった。駐車場が課題
- ・出展ブース確認欄がある事で全体的なブース回りができる
- ・展示ブースにおいて企業の説明は簡潔的で理解しやすかった

【やや良い】

- ・対面で情報を入手できる、苦労した所が聞ける、問題点も含めて
- ・1つの会場にまとまっていて展示会全体を把握できたからです
- ・様々な分野の技術情報を得られることは有効と考える

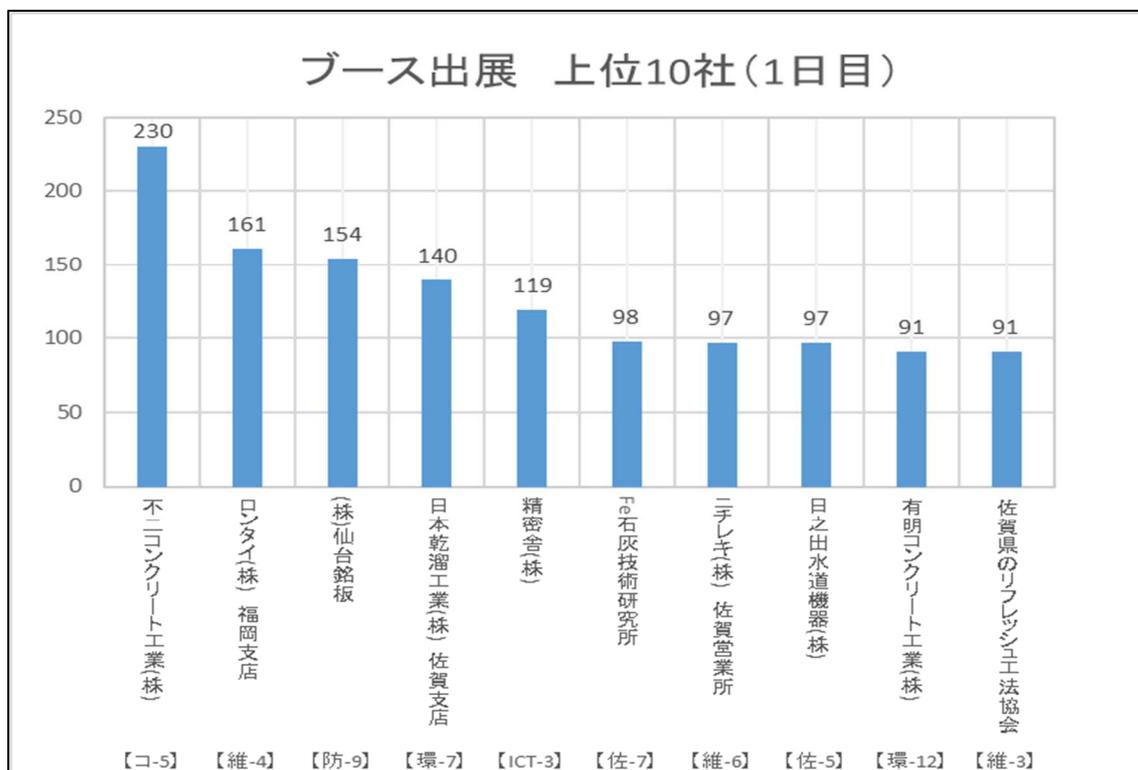
【普通】

- ・他県の建設技術フェアと違った特色を持ったものにしてほしい。どの県も同じように見える



### 【出展ブース確認押印欄の上位 10 社（1 日目）】

アンケート用紙に設けた出展ブース確認押印欄を集計したところ、上位 10 社はグラフのとおりであり、コストに関する技術の【コ-5】不二コンクリート工業（株）が最も多く、次いで維持に関する技術の【維-4】ロンタイ（株）福岡支店となっています。



(2) 2日目

設問 1) 職業

建設業が最も多く来場者のほぼ半数を占め、次いで設計・調査・コンサルタント、学生・生徒となっています。

設問 2) フェアの開催はどこで知ったか

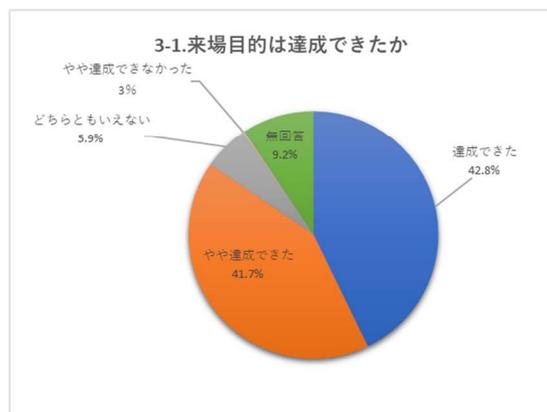
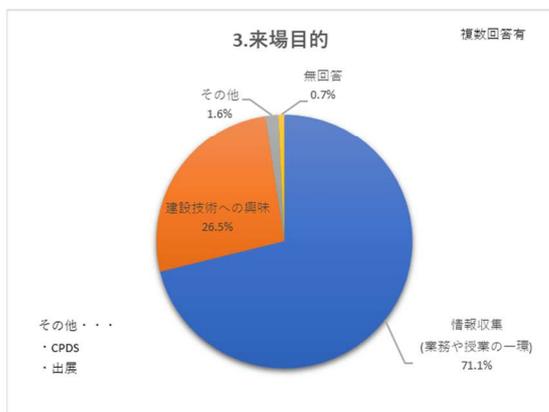
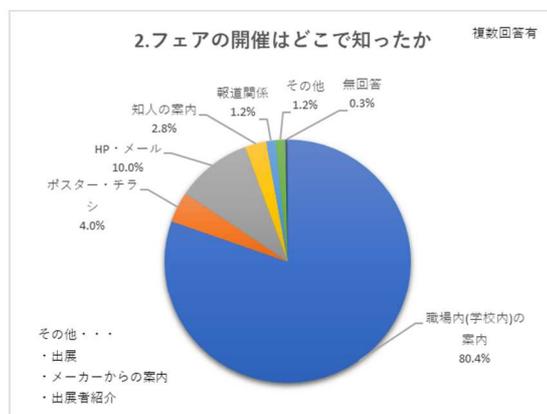
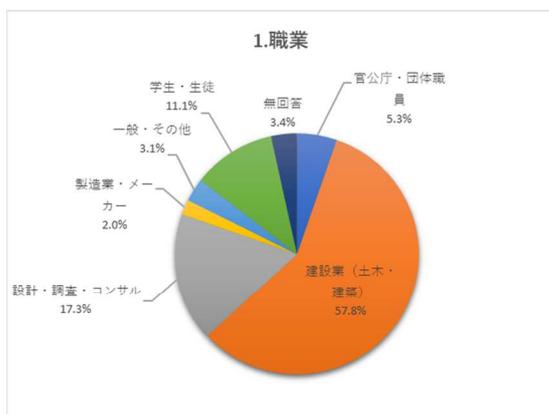
職場内（学校内）からの案内が最も多くなりました。

設問 3) 来場目的

情報収集が最も多く約 71%、次いで建設技術への興味が 26%程度となっています。

設問 3-1) 来場目的は達成できたか

達成できたとやや達成できたを合計すると約 84%となっています。



設問 4) 毎年の開催を希望するか

希望するという回答は 87%程度となっています。

設問 5) 今回のフェアで印象に残ったプログラム

多くの方は、出展ブースが印象に残ったようです。

設問 6) フェアに関する評価

良い、やや良いという回答は約 86%となっています。

【良い】

- ・新製品の開発、測量機具、機械 ICT など目を見張るものがあり大変よかった
- ・歩きながら技術の内容を見ることができ、技術者の方にも詳細を伺いやすい環境だった
- ・情報共有を効率的に行える
- ・未来を担う学生の姿が多く希望を感じた
- ・技術や工法、新製品等の情報収集しやすい
- ・今までにない技術を見たり、体験でき勉強になった
- ・来場者とブースとの距離間が良いと感じる

【やや良い】

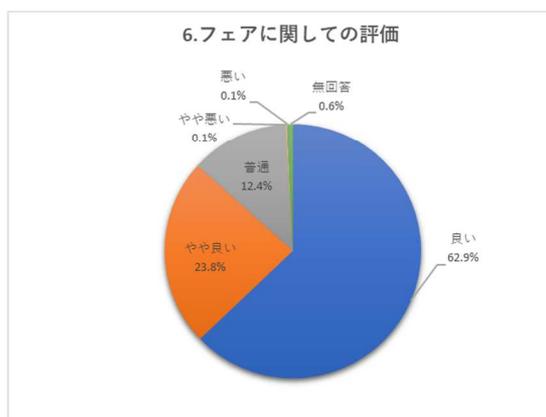
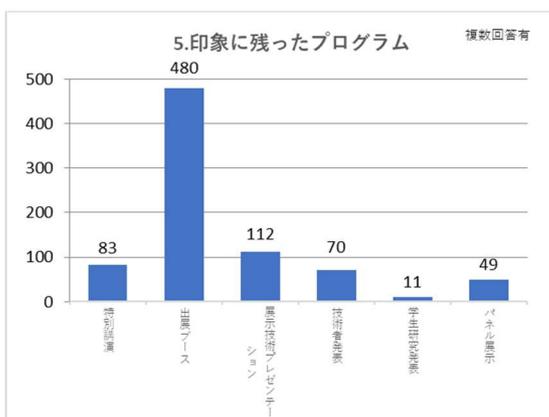
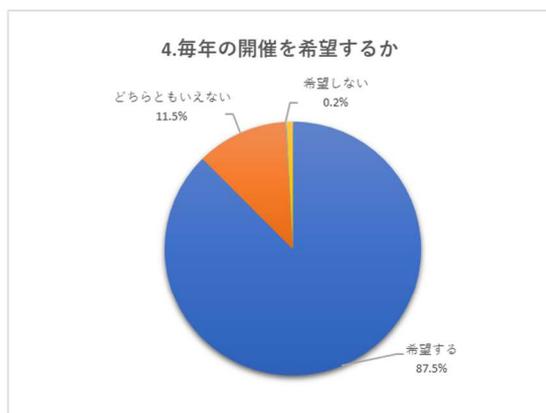
- ・普段の業務では知ることのない技術等について知れるから
- ・建設技術の動向に関する情報が得られて良かった
- ・駐車場が少ない

【普通】

- ・内容は良いが証明書発行に長蛇の列が出来る
- ・自分は将来に困ったので良かったと思う

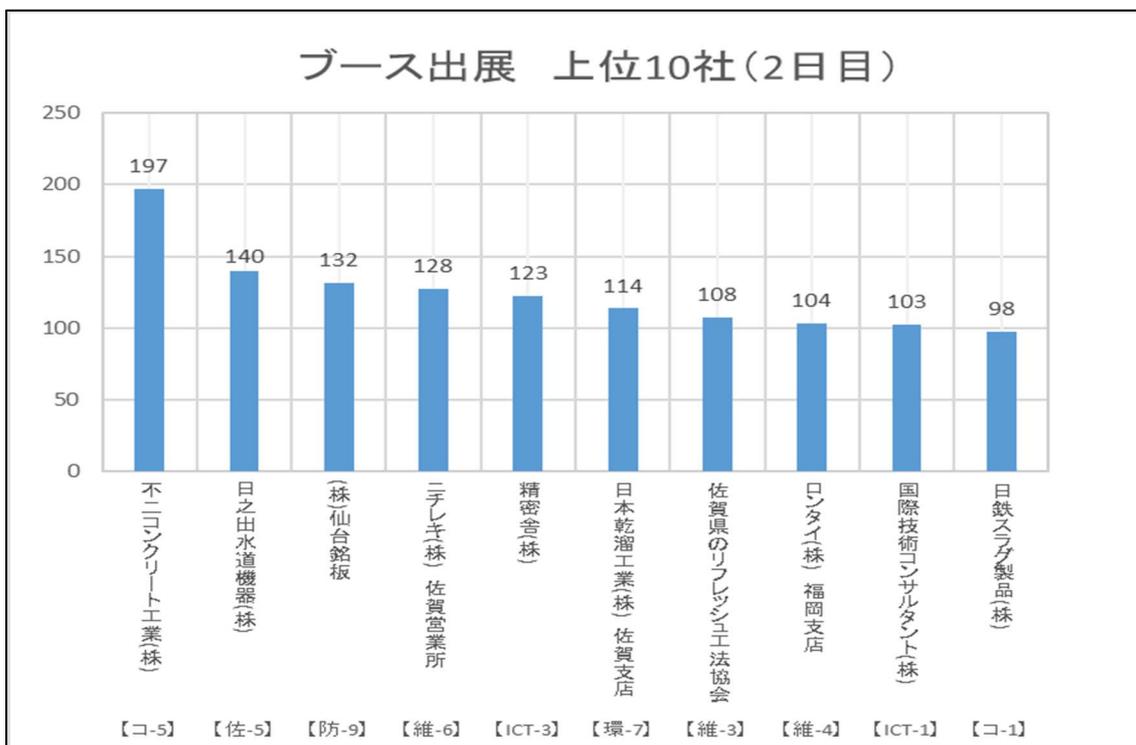
【やや悪い】

- ・もう少し多くの企業がみたかった
- ・規模が小さい



### 【出展ブース確認押印欄の上位 10 社（2 日目）】

アンケート用紙に設けた出展ブース確認押印欄を集計したところ、上位 10 社はグラフの通りであり、コストに関する技術の【環-6】不二コンクリート工業（株）が最も多く、次いで佐賀の技術に関する技術の【佐-5】日之出水道機器（株）となっています。



### (3) 来場者からの自由意見

- ・ 測量、道路関係、災害、橋梁
- ・ 技術は進歩するので継続して開催して下さい
- ・ 実際の施工現場の映像を見たい
- ・ 屋外での展示
- ・ デキスパートの進展
- ・ 小さい箇所で小型化の物件
- ・ ゆったりとした会場にしてほしい（アリーナ等）。県や国の方の講演をもっと聞きたい。アーカイブで講演を見れるようにしてほしい
- ・ 環境保護と技術発展の両立
- ・ 舗装に関する情報が欲しい
- ・ 有明海沿岸道路に伴う建設技術。新製品、新商品の情報、建設工事人材確保への取組
- ・ 新技術、DX、ICT 関連の技術や工法、使用実例を聞きたい
- ・ AI 活用技術
- ・ 駐車場に余裕がある会場での開催希望
- ・ 3次元モデル関連に興味があるためもっと聞いてみたい
- ・ 防災・減災技術、砂防技術
- ・ オスプレイの建設施工について
- ・ 仮設土留工（軟弱地盤対策）
- ・ リサイクル活用に関する技術工法、製品等
- ・ 構造物の改修等及び維持管理に関する工法をもっと知りたいと思います。特に改修に対してどれだけ安価に出来る工法があるかなど
- ・ 3DCAD について
- ・ 業務の合理化を推進する方法、及び技術の最先端の情報を期待したい
- ・ 環境が重視されてきており、仮設が本設を兼用出来るような工法
- ・ 1つのテーマに絞って会社間のトークセッション等があると興味がひかれます
- ・ 赤外線カメラ等、ドローン等
- ・ 人口減少と地方の街づくり、田舎の生活環境みたいなもの
- ・ 3D デジタルデータ、CIM に関する実務的なノウハウなど
- ・ 佐賀県内の道路開発計画
- ・ 改良材や路盤材等の技術
- ・ CO2 削減技術、無人施工
- ・ 県内のゼネコンにはもってきてほしかった
- ・ 土木だけでなく、建築分野の展示ブースの増加を希望します
- ・ ダムの話
- ・ 県内の大型土木工事の実話紹介

- ・ 学生への建設業アピール
- ・ 機械設備メーカーの出展
- ・ 上下水道の技術も展示してほしい
- ・ 実際に現場で働いている人の講演
- ・ カーボンニュートラル技術
- ・ 省力化、無人化、現場管理の助けになるもの
- ・ コンクリート技術・製品（主桁等）
- ・ 佐賀県での実績等あれば良かった
- ・ ICT の具体的活用事例発表など
- ・ 新技術、法面、地盤改良等
- ・ **BIM/CIM**
- ・ 現場でデータを見える化
- ・ 橋梁補修の画像解析
- ・ 安全・騒音振動対策(NETIS とか)
- ・ 側溝等の新技術製品を見てみたい
- ・ **HIKOKI** に出展希望
- ・ 建設工具など
- ・ ICT 全般、地質調査における新技術
- ・ インフラ点検の技術を知りたい
- ・ 調査・診断のキャリブレーション
- ・ 斜面对策
- ・ 水防施設関係
- ・ **ASR** がみられる構造の維持について
- ・ **CIM** 対応として、3次元化の技術
- ・ **SDGS** への取組み
- ・ 人手不足解消に向けた取組
- ・ 無人化施工技術、最新の気象予報技術等
- ・ リサイクル(産廃処理)代として使用できる土木製品があれば
- ・ **UAV** レーザー
- ・ 伝統技術継承

## 5.2 出展者アンケート

出展者を対象にアンケート調査を行いました。59社の出展者のうち、24社から回答をいただきました。

### 設問 1) 出展の目的は

新製品等のPR、企業・団体のPR、営業活動がほぼ1/3ずつを占めました。

### 設問 2) 出展の目的は達成できたか

達成できた・やや達成できたが3/4以上を占め、達成できなかったは7%でした。

### 設問 3) 次回も出展したいか

出展したいは79%で、出展しないはありませんでした。

### 設問 4) 技術発表をしたか

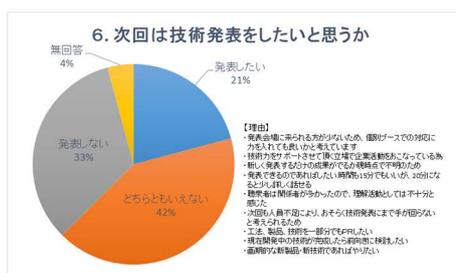
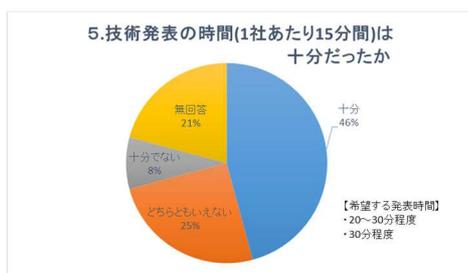
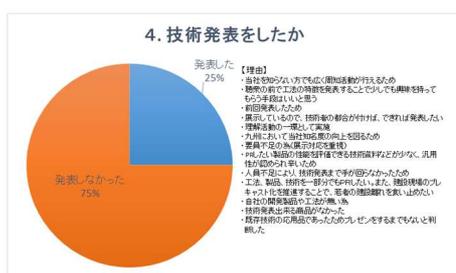
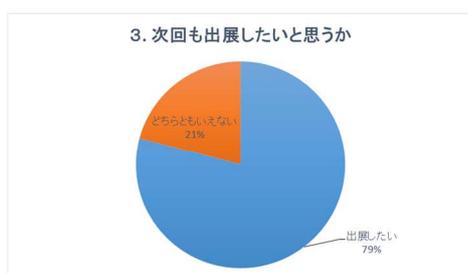
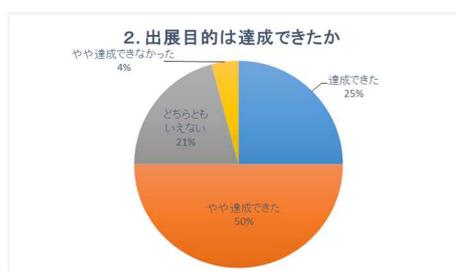
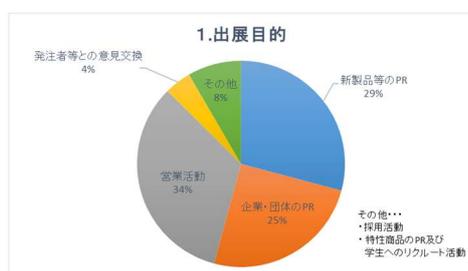
技術発表したのは25%でした。

### 設問 5) 技術発表の時間(1社あたり15分間)は十分か。

十分との回答は45%でした。

### 設問 6) 次回は技術発表をしたいか

次回も技術発表をしたいと答えたのは21%でした。



設問 7) 来場者数に満足したか

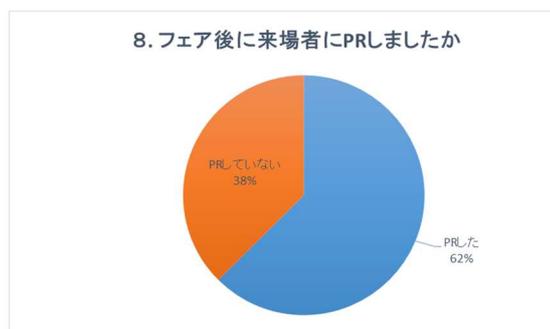
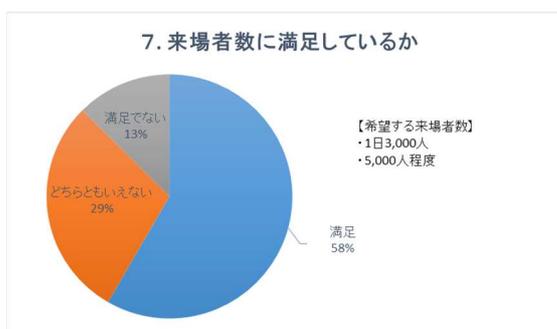
満足と回答したのは 58%でした。

設問 8) フェア後に来場者に PR したか

半数以上の出展者がフェア後に PR したようです。

PR した内容と相手は、以下の通りです。

- ・名刺交換をした方にメールを送付
- ・名刺交換させていただいた企業様へメール送信しました
- ・測量コンサルタント会社、建設会社へ今回展示し機器を中心に PR しております
- ・総合カタログ配布
- ・官庁関係・森林組合関係者に PR を行ったカタマ SP の普及のお願いと、鉄鋼スラッグの理解活動
- ・佐賀大生に対し、リクルート PR
- ・佐賀市内のコンサルタント⇒ご来場のお礼と製品の補足説明を実施
- ・顧客となり得る企業への製品紹介
- ・ブースにお立ち寄りいただいた数社様にお礼も兼ねて数社訪問しました
- ・来場者への同様の説明と販売促進
- ・ブースで製品説明した建設会社へサンプル含めて使用可能か再度 PR
- ・名刺交換させていただいたお客様にメールでお礼と商品の案内



設問 9) フェア後に来場者からの問合せはあったか

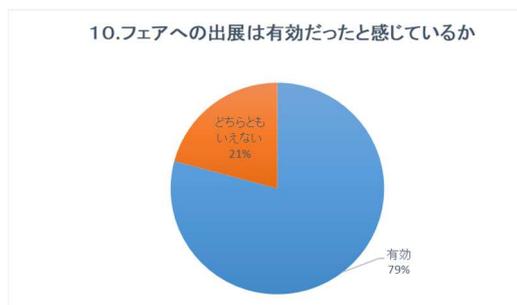
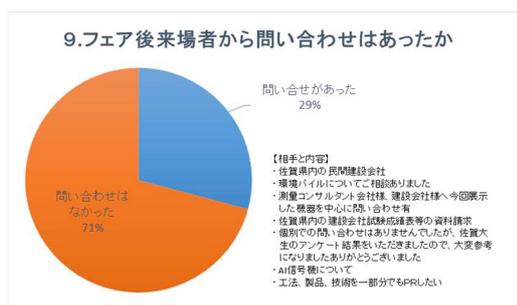
来場者から問合せがあったのは 29%でした。

設問 10) フェアへの出展は有効だと感じたか

79%は出展が有効だったと感じているようです。

理由は、以下の通りです。

- ・リクルート活動も1つの目的としており、多くの学生、高校生と接点をもつことができた
- ・普段 PR できていない教育機関等へ最新の測量機をご紹介できた為
- ・来場者の中で土木にかかわる役所担当者、設計事務所の方々の参加が少ないように思える
- ・学生への説明は良かった、企業は少なかった
- ・官庁、コンサル、建設会社への認知度UPや理解活動が出来る場があるのは、ありがたい。リクルート活動にも使えるので、企業イメージUPにも貢献できていると考えています
- ・製品を見ながらいろいろな話ができて、お客様とのきっかけが広がったと感じる為
- ・出展したこと自体が顧客候補社との話題となったこと。出展することを HP でニュースとして紹介したところ、社内の他部署から、当事業部の活動内容に理解と興味を持ってもらえた
- ・ブースへの来場者が前回よりも少なかったが、当方の準備ミスも影響していると考えているため
- ・弊社で製造、販売している製品を周知することができた
- ・弊社のことを知っていただく良い機会になった
- ・同業他社や多くの学生に会社の PR となった
- ・佐賀県地区の地元企業の方と面談する機会でき、参考になる情報を入手する事が出来た
- ・営業先での商品認知は確実に上がったといえるから
- ・来場者の方より忌憚のない意見を頂き視点が違う考え方も参考になりました
- ・地盤改良は佐賀では特にメジャーな工法であるので、新しいものには興味をもって頂けたと思います
- ・新商品の PR が出来た
- ・地域貢献



設問 11) 配布したポスターやチラシは活用したか

ポスターやチラシを活用したのは 67%でした。

設問 12) 出展費用（ブース 70,000 円、技術発表 10,000 円）は妥当か

妥当と感じた出展者は 88%でした。

設問 13) 出展ブースの配置は適当か

8 割程度は適当だという結果になりました。

設問 14) フェアが掲げる目的は達成したと思うか

達成したとやや達成したという回答を合計すると 83%となりました。

設問 15) フェアの開催時期と開催時間は妥当か

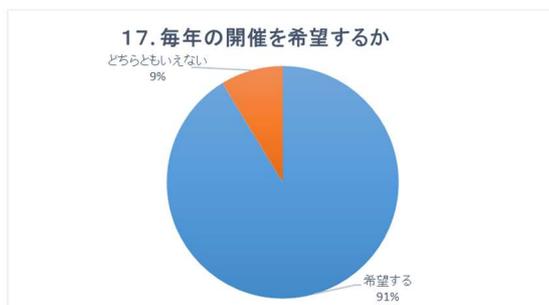
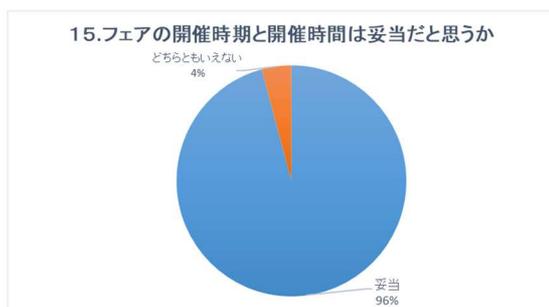
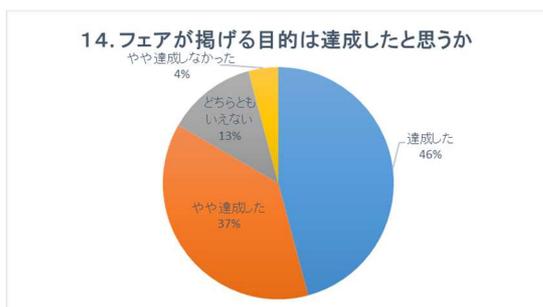
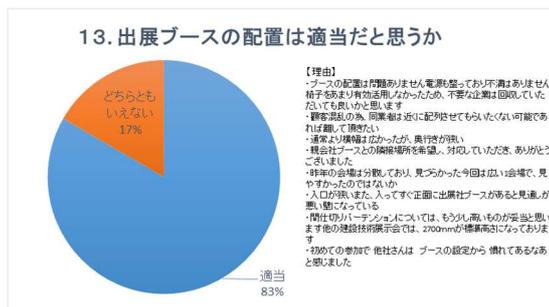
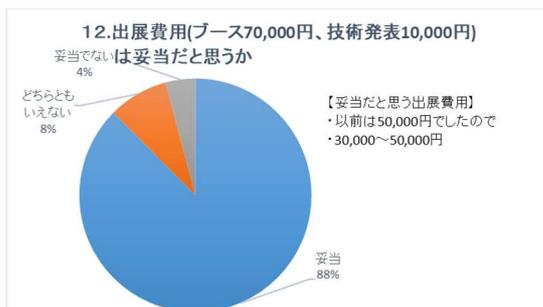
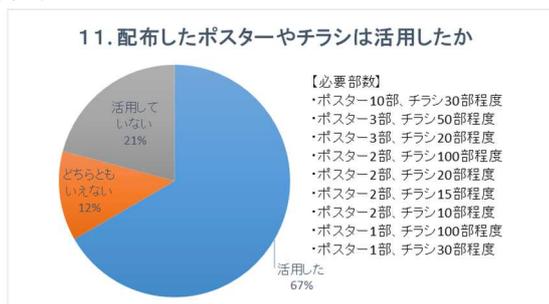
妥当という回答は 96%でした。

設問 16) フェアの開催場所は妥当か

妥当と感じた出展者は 87%でした。

設問 17) 毎年の開催を希望するか

希望すると回答した方が 91%でした。



### 【出展者からの自由意見】

- ・今後も多くの企業、大学生、高校生と接点を持てる有意義な建設フェアにさせていただきたいと考えます。今年は時間帯によっては参加される人が少なかったため、九州全域から集まるような広告を期待します。
- ・目的の建設分野（土木・建築）の官の参加が少ないと思います。いかに集客するかを考えてほしい。
- ・もう少し設計事務所、建築の関係者が来てくれた方がいい。CPD 目的の方が多かった。
- ・他のイベントに比べても、建設業界の方が多く、PRする場として満足しています。
- ・今年は地方自治体など発注機関の方の参加が少なかったように感じました。来年度本フェアが活況となりますこと期待しております。
- ・遠方の事業者様（唐津等）は少ない参加となっているみたいです。今後の課題では？と思います。
- ・地元企業の出展を、環境、新技術に配慮してバラエティに富んだ特色あるものとしてほしい。
- ・より多くの学生（建築・土木）と土木業者と同等数、建築業者に来て頂ければと期待します。
- ・毎年、学生の来場に尽力されていることが弊社の出展目的の一つと合致しています。今後も広く呼び掛けていただくことを期待しております。
- ・もう少し規模を大きくしてほしい。また、最近のフェアでは名刺を受付時にデータ化し、来場者はバーコード等を出展社に見せるだけで自動で来場したことが分かるようになっている。未だに名刺を配るのは非効率である。
- ・初出展でしたが期待どおりでした。
- ・弊社は、専門工事業者である為、発注者・施工業者のニーズ情報を直接収集し新技術開発の要素にしたい。
- ・既存のお得意様の来場が多く、通常の営業の延長線上のような感じになっている。県外の発注者、コンサル、業者への情報発信をお願いしたく、新規顧客獲得へと繋げていければと思う。
- ・フェア終了後に、ホームページに各出展ブースの写真を公開していただけると、多くのブースがある中で会期終了後にもブースを思い出していただければ問合せにつながると思います。
- ・会場周辺に昼食をとる場所が少なかったため、目的は違うが出店やキッチンカーのようなイベントもあって良いのではないかと思います。
- ・一般(社会人)と教育機関(学生)で同じ商品でも紹介する内容が異なる事が多い為、学生向けとして特別に時間を分けても良いか思います。例えば1日目のAMは学生のみのお来場など。
- ・チラシはもうちょっと多いほうが助かります。

- ・屋外でも展示できる場所があれば良いと思います。建機での ICT 施工も増えてきている為。
- ・昼食は準備していただけるとありがたいです。明確な昼休憩時間を設けていただけるとありがたいです。
- ・官庁関係の方が、名刺等をいただけないケースが多々あるので、部署や氏名が分かる物をいただけると、どなたに説明をしたか後で分かるので助かります。
- ・レンタルの机が横に2個入らず、レイアウトを変更せざるを得ない状況でしたできれば入るようにしてもらいたいと思います。
- ・官庁（県、市町を含む）への PR を行ってほしい=来場者として来てほしい。ある市の担当者（建築関連部署、係長ほか3名）との会話ではフェア開催されていることすら知らなかったとのコメントがあった。
- ・入場の際登録をするのはわかりますが窓口が少なすぎる。込み合う時間でタイムリーでも構わないので増やさないと入場に時間が掛かりすぎです。少ない時間帯は構わないのですが入場開始の1時間前後は窓口を増やした方が良いと思います。
- ・弊社 PR と並行して学生へのリクルート活動も出展目的の一つです。学生がブースに立ち寄りやすい環境づくりを開催事務局さんのほうでもアシストしていただけますと幸甚に存じます。【ご参考】弊社が毎年出展しております「先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本」では「学生ウェルカモンブース」というものがあり、出展者に広く参加を呼びかけており弊社も参加しました。弊社ではブースに立ち寄っていただいた学生には学生専用のパンフレットやノベルティグッズを配布しました。
- ・今回の会場が SAGA アリーナ横の施設でしたので、非常に目立つ場所なので良かった。
- ・出展ブースのスペースをもう少し広く設定して欲しい。
- ・隣ブースとの仮設壁の設置が雑で不安定であり、斜めに設置されている所もあり次回改善をして欲しい。
- ・開場は10時であったにも関わらず9時半には来場者があったため、準備しているところもあり混雑した。
- ・ブースの基本的なセッティング等を主催者側でして頂けたので、搬入設置や撤収を非常にスムーズに行う事ができました。ありがとうございました。
- ・来場の事前登録をしていたにも関わらず受付でかなりの時間を要した。

## 6. まとめ

当機構は、地方公共団体の建設行政との連携・協働を図り、社会資本の整備及び公共施設の維持管理に関する各種の技術支援事業を通じて、県民の安全で安心な生活の実現に寄与することを目的としています。

当フェアは、公益目的事業の「技術力向上のための技術情報発信事業」における「建設技術情報啓発事業」に位置付けており、日々進化する建設技術の情報収集発信・利活用が必要不可欠であるという観点から建設技術の理解を深めるための取り組みの一環として実施しました。

フェアの開催は、以下を3つの柱として、これらを通じて建設産業の発展に寄与することを目的としています。

- ・建設分野（土木・建築）の技術・工法・製品などについて産学官における技術情報の交流の場を提供すること
- ・建設分野の技術開発や新技術導入の促進を図ること
- ・多くの方々に建設業界の魅力や社会資本整備の必要性について理解を深めてもらうこと

技術者同士が対面で交流できる場を提供することが有意義だと考え、5月8日から新型コロナウイルスが感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたことや人流抑制も緩和されてきていることなどから、今回は来場人数等の制限のない開催としました。

会場については、昨年度まではガーデンテラス佐賀 ホテル&リゾートをお借りして開催をしましたが、例年、出展ブースは定数以上のお申込みをいただいている状況でした。これらを踏まえ、規模の拡大を図ることで、より多くの方にご来場いただきたいとの思いから、SAGA プラザ（総合体育館）に会場を変更しました。

昨年度は42の出展ブース数でしたが、今回は59の出展ブースを設けることができ、来場者数も過去最高の2日間で延べ2,270名に来場いただきました。

来場者ならびに出展者の皆様に対して実施しましたアンケート結果を見ますと、多くの方々にご満足いただいた一方、当日対応や出展内容などへのご意見・ご要望が多数あり、今後の開催にあたっての課題も明らかになりました。今後はそれらの課題を改善しながら、継続開催を希望する声も多かったことから充実したフェアとなるよう努めてまいります。

また、継続開催のためには、国や自治体、県内の建設業関連の団体・協会のご理解やご協力は必要不可欠で、佐賀大学や県内高校の学生・生徒が積極的に参加できるように連携していくことも重要と考えています。

最後に、当フェアを開催するにあたり多大なご協力をいただきましたご講演者の皆様、佐賀県をはじめとした共催者および後援の方々、ならびに関係各位に厚く御礼を申し上げますとともに、今後の継続開催へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（以上）